

アクティブな学びの前に

学びのOS

概要書

学びのOSとは？

考えるための“基盤作り”

＜考えるための“パーツ”の獲得＞

＜探究思考の“方法”の獲得＞

＜PBLのための“能力”の獲得＞

学びのOS 概要

対象学年：中学 1 年生
 高校 1 年生

教材構成：ワークブック（生徒用）
 授業参考資料（教員用）
 投影用視聴覚資料

分量 ：全15回分

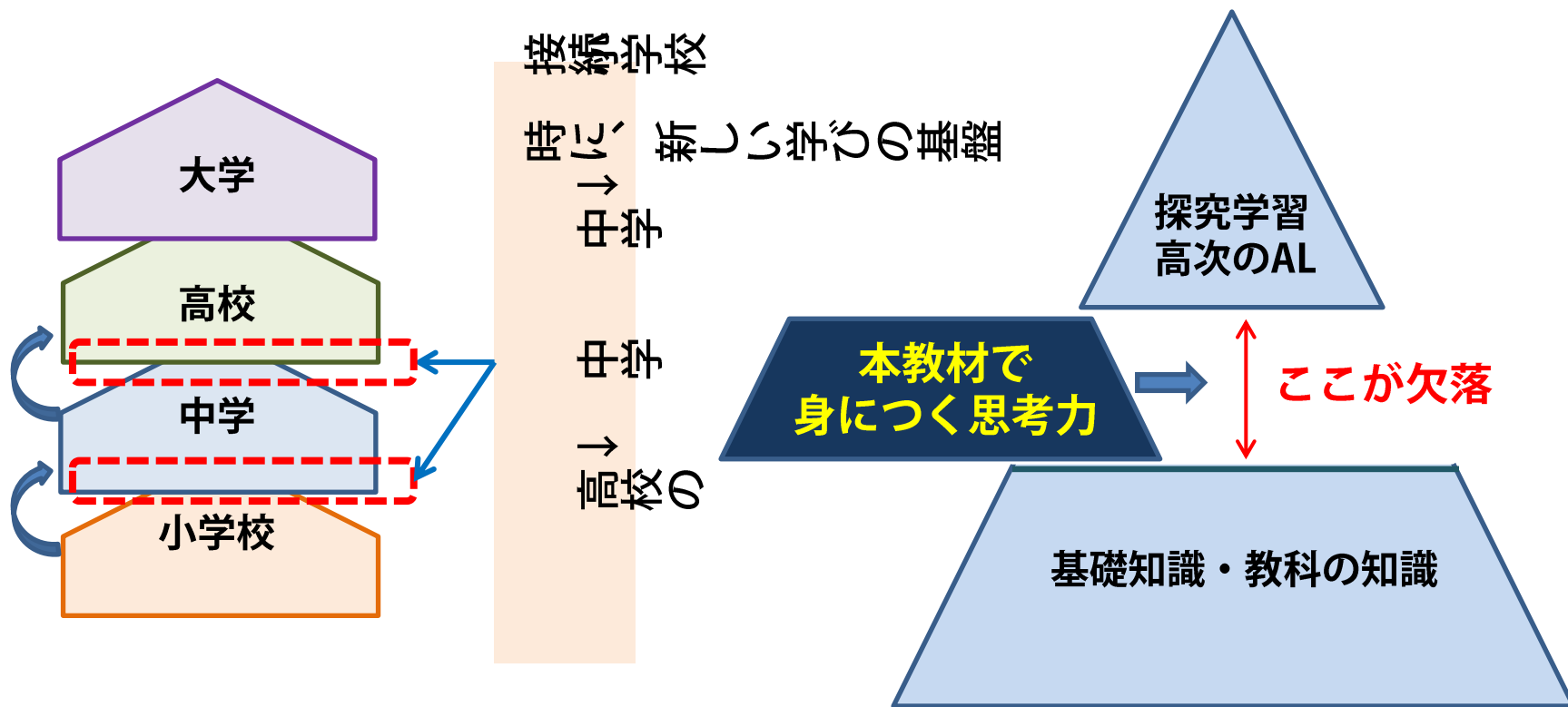
シリーズ：①学びのOS
 ②創造思考×論理思考ワーク集（制作中）
 ③問題解決力向上PBLワーク集（制作中）

価格：お問い合わせください。

販売：日本教育基準協会

なぜ、学びのOSか

教科の学習 = What Howの学習がない。



未知の事を考える力・知識を活用する力
のために必要なことは？

①類推すること・類推する意欲

②考えるためのフレームを獲得すること

③知識の質（活用可能な形での習得）

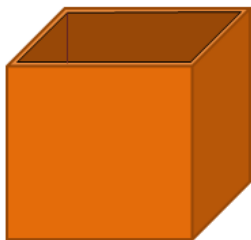
④非認知能力の獲得

教材(投影用補助教材)サンプル



1.2 Lの水が入る立方体の容器があります。この容器を使って、0.6 L、0.4 Lの水を量ってください。

課題
知識の活用



道路の両端のラインを延長した先の角度は90°より大きいでしょうか？



課題
直感と思考



スマホが充電できません。原因を考えてみましょう。

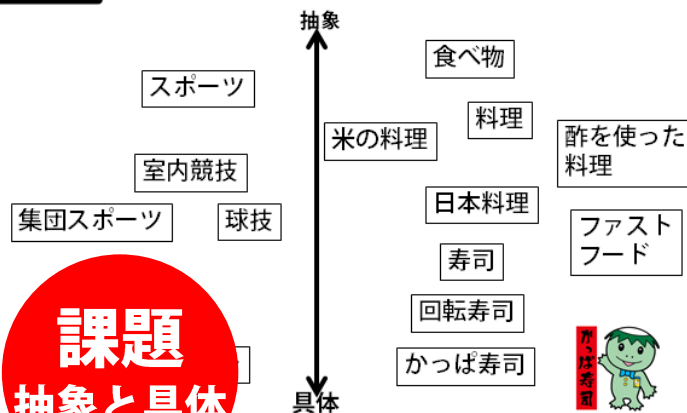
課題
仮説と検証



コンセント→テーブルタップ→充電器→充電ケーブル→スマホ



「具体」「抽象」「一般」



課題
抽象と具体